

パリの15分都市 ～人中心のまちをめざす都市再編～

適塾
路地奥
サロン

買い物、娯楽、通学、通勤、医療など、生活が徒歩15分圏内で完結することを想像してみてください。まちにはいたるところに生活の一部となる場所が現れ、どこかにはあなたのお気に入りの場所を見つけることができるかもしれません。そんな少しワクワクするような取り組みがフランス・パリで行われています。車が主役だった道路は車道の削減に伴い歩道の拡幅と自転車道の整備が行われ、車が速度をあげていたロータリーは歩行者にとって快適な緑のある空間へと転換されるなど目に見える変化が起きています。

第45回の路地奥サロンでは、長年にわたりパリのまちづくりを研究されている岡井氏をお呼びし、行政主導の大胆な施策のもと「人中心のまち」へと変わっていくパリの姿をお話いただきます。

令和4年 **5月13日(金)**
18:30～ 参加費無料

会場：アルパック京都事務所およびオンライン開催
※会場は先着申込10名程度

申込方法



弊社HP若しくは下記URLの申込フォームから5/11(水)までにお申し込み下さい。
QRコードよりフォームのURLの取得が可能です。
<https://forms.gle/J1FXR2wkKhdxPr9>

※お申し込みできない場合は①氏名②所属③電話番号④メールアドレスを明記した上、
rojiokusalon.arpak@gmail.com までご連絡ください。

アクセス



講師 **岡井有佳氏** 立命館大学理工学部教授 博士(工学)



京都市生まれ。専門分野は、都市計画、都市政策。建設省(現、国土交通省)入省。パリX大学都市整備・地域開発高等専門研究課程修了、パリ・ラ・ヴィレ建築学校客員研究員、OECD(経済協力開発機構)、パリI大学パンテオン・ソルボンヌ都市地理学研究所(CRIA)客員研究員を経て現職。
主たる著作は、「フランスの広域行政組織～都市計画の権限における役割～」(田中宏編著『協働する地域』、晃洋書房、2020年)、「フランスの広域計画」(大西隆編著『広域計画と地域の持続可能性』、学芸出版社、2010年)、『高齢者とまちづくり』(共著、風土社、1997年)など。

適塾
路地奥
サロン

21世紀に入り、地域を取り巻く課題はより複雑化、高度化しており、単純なハードとソフトの融合というツールだけでは解決できない状況となっています。アルパックでは、今一度、多方面で活躍されている実践者や研究者の方々による具体的な活動や事業から「まちづくり」を見つめ直し、再定義し、「21世紀型の持続可能なまちづくり」のあり方等について、大阪事務所横の適塾のように「教えあい、学びあう」活発な意見交換を行いたいと考えています。

【主催・問合せ先】

株式会社 地域計画建築研究所(アルパック) 京都事務所 〒600-8007 京都市下京区四条通り高倉西入ル立売西町82番地 京都恒和ビル3F
TEL. 075-221-5132 FAX. 075-256-1764 URL <http://www.arpak.co.jp>